

伊予市第4次障がい者計画等策定業務プロポーザル審査基準

評価項目	審査項目		審査基準	配点	
1	事業実績	障がい者計画等の策定に関する実績	・過去又は現在における地方公共団体が発注する障がい者計画等の策定実績は充分か。	5	5
2	業務実施体制	体制	・業務実施にあたって十分な人員配置及び組織体制が提案されているか。 ・担当者(研究員)が策定業務に関する知識や経験を充分に有しているか。	10	5
		計画策定スケジュール	・適切に業務量を把握し、実現性のあるスケジュールであるか。		5
3	アンケート・ヒアリング調査	アンケート・ヒアリングの手法	・調査項目・手法は適切か。 ・個人情報の取扱いは適正か。	15	5
		集計・分析	・アンケート等が分かりやすく集計・分析できる提案となっているか。 ・現状把握、課題整理等、分析結果が活用できる内容となっているか。		5
		回収率UPへの取組み	・高い回収率を確保するための取り組みが示されているか		5
4	提案内容	編集・表現	・年代に関わらず、市民に分かりやすく見やすい計画書となるような工夫が示されているか。	60	5
		政策動向の把握	・障害者福祉をめぐる法改正等、国・県が示す方針を適切に把握し、計画書に盛り込まれるような工夫が示されているか。		10
		計画策定ポイントの提案	・業務を高度に達成するため、独自のノウハウを生かした提案が示されているか。		20
		伊予市の現状分析等に関する提案	・伊予市の現状・特性等を適切に把握し、計画書に盛り込まれるような工夫が示されているか。		20
		進捗管理・評価方法	・計画の進捗管理と評価方法について、効果的な提案が示されているか。		5
5	伊予市障害者福祉計画策定審議会等の支援体制		・伊予市障害者福祉計画策定審議会の運営補助体制や提案内容は適切か。	5	5
6	価格評価		・見積額(5点 × (1 - 提示価格/予定価格)) 小数点以下第1位を四捨五入 ※予定価格を上回る場合は失格	5	5
	合 計			100	